

京都大学総合博物館二〇二六年度企画展

日本のゾウ化石

2026年

7月8日(水) — 9月13日(日)

時間… 9時30分〜16時30分 (入館は16時まで)
休館日… 月曜日・火曜日 (平日・祝日にかかわらず)

夏季休業日 (8月12日)

観覧料… 一般 400円 大学生 300円

以下の方々は観覧料無料 (証明書類をご提示ください)

◎障害者手帳等をお持ちの方とその付き添いの方1名

◎70歳以上または18歳未満の方

◎小学生、中学生、高校生

◎京都府下の大学に在籍する学生

◎京都大学の学生・教職員

主 催… 京都大学総合博物館

京都大学大学院理学研究科地質学鉱物学教室

後 援… 京都府教育委員会・京都市教育委員会

京都大学総合博物館

ナウマンゾウ頭骨 (復元)
京都大学総合博物館 蔵

アジアゾウ頭骨
京都大学総合博物館 蔵

日本のゾウ化石



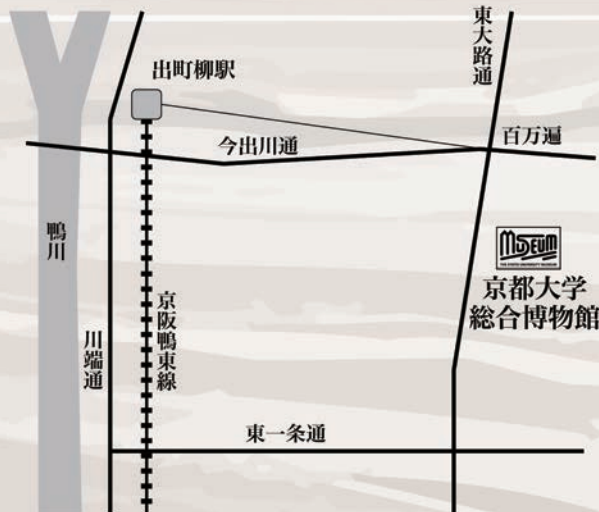
トウヨウゾウの
歯化石 (左)
京都大学総合博物館 蔵

日本列島からみつかるゾウ（長鼻目）の化石は、約 1900 万年前のアネクテンスゾウから約 1 万 5 千年前のナウマンゾウまで、少なくとも 10 種類以上の種が確認されています。これらのゾウ化石は、ミエゾウやシガゾウといった産地の名前がつけられることが多く分かりにくいのですが、少なくとも 7 系統のゾウが含まれています。このうち、京都大学には日本における最古のゾウ化石であるアネクテンスゾウと、一般に最も知られているナウマンゾウの模式標本が所蔵されています。本企画展では、これらの貴重なゾウ化石を展示して、ゾウ化石の研究において京都大学の果たしてきた成果を明らかにし、長鼻類の形態や地理的分布がどのように変わってきたのかを明らかにします。また、東南アジアや中国などで見つかった化石のレプリカと並べて展示することにより、日本列島と大陸の動物相の類似性について解説します。



ナウマンゾウの模式標本(左)
京都大学大学院理学研究科地質学鉱物学教室 蔵

シガゾウの歯レプリカ
(背景) 京都大学総合博物館 蔵



【関連講演会（予定）】

事前申込不要・参加無料（観覧料は別途必要です）
内容は予告無く変更となる場合がございます。詳細は HP をご確認ください。

第 1 回 7 月 26 日（日）13 時～

「アケボノゾウの発掘物語」

小早川隆（多賀町立博物館 / 学芸補佐員）

「アケボノゾウ多賀標本の骨格を考える」

小西省吾（甲賀市みなくち子どもの森 / 学芸員）

第 2 回 8 月 2 日（日）13 時～

「掘り出された 1700 万年前の記憶：
シュードラチデンスゾウと化石発掘の最前線」

飯泉克典（国立科学博物館 / 協力研究員）

「日本最古の象 ゴンフォテリウム」

岡崎美彦（北九州市立自然史・歴史博物館 / 名誉館員）

第 3 回 8 月 22 日（土）13 時～

「ナウマンゾウ、いま世界が注目する日本のゾウ化石」

高橋啓一（滋賀県立琵琶湖博物館 / 名誉館長）

京都大学総合博物館

www.museum.kyoto-u.ac.jp

info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

【アクセス】

京阪電車「出町柳駅」より徒歩約 15 分

市バス停留所「百万遍」より徒歩約 2 分

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

展示協力：多賀町立博物館・瑞浪市化石博物館・兵庫県立人と自然の博物館
滋賀県立琵琶湖博物館・東北大学総合学術博物館・国府田良樹



アネクテンスゾウの上下顎 (右)
上顎：瑞浪市化石博物館 蔵 下顎：京都大学総合博物館 蔵